

## ◆ 平成27年度 活動報告シート ◆

団体名：NPO法人 和光・風の里

代表者：代表 佐藤麻由子

URL : <http://tanbonoie.com/>



### 1. 活動が必要とされた状況

和光市内に残されたわずか3反の水田の存続危機。

### 2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

事業内容 田植えから稲刈りまで継続した活動を市民力で推進。無農薬米のおいしさを共有する。

実施時期 2015年4月～12月 参加人数スタッフ15人

子ども8人 収穫感謝祭参列者約70人

組織的な市民活動での保全が3年目となった2015年度、天候不順や実際の人材不足・資金不足など課題が噴出しましたが、ふたを開けてみますと、精米やさんから「年々よくなっていくね」無農薬で化学肥料を使わないのに、なんと米どころのお米と比べて粒が大きかったことにスタッフから歓声が上がりました。思いは形になることを実感した瞬間がさまざまあり活動の醍醐味を知りました。

### 3. 活動の成果

市民力で本格的に保全活動を始めて3年目嬉しい成果が出ました。新河岸川拡幅工事で存続が焦点となっていた和光に残されたわずかな水田2か所に、朝霞県土整備事務所により井戸が設置されることが濃厚となりました。

2013年度には環境協働会議を設置、田植えと草取り、稲刈りをイベントにして都心に近い無農薬田んぼをアピールしました。2014年度は農林水産省交付金により、本格的な田んぼ事業を実施、同年11月にNPO法人和光・風の里を設立しました。

2015年度は、天候不順が続き心配されましたが、収穫までたどりつくことができ安堵しました。「自然環境を守ることが人間にとって大切」「無農薬水田がもつ浄化作用」3年間の啓蒙活動は地域に徐々に浸透し、収穫感謝祭には多くの参列者が集まりました。

続く4年目には和光だけでなく各地で地方創生の風を吹かせながら風の里の水田総括を行います。風の里は、これまでの事業の成果を公開・共有し、今後も半永久的にこの水田が守られていくことを願うところです。

### 4. 今後に残された課題

新設の下新倉小学校は田んぼのすぐそばです。和光市内の子どもたちが稲作文化に触れどのように学んでいくか市民の合意と具体的なプランニングが必要になります。